

人権意識が根づくまち

市民一人一人の人権と、多様な価値観を尊重し合い、地域で共生できるまち「ふくつ」。このコーナーでは、人権について思いを巡らすひとときを提供します。
 市人権政策課 ☎43・8129、☎43・3168

人権問題を相談するということ

毎月第4水曜日午前10時から午後3時まで、ふくとぴあで特設人権相談の場を設けています。しかし、広報不足から相談者は少ない状況です。人権擁護委員定例会でも、このことが話題になります。「認知度が低い」「場所が利用しづらい」「人権相談にどういふことを相談するのかかわからない」などが原因として考えられます。しかし、利用されない一番大きな理由の一つに、人権問題を相談するハードルの高さがあるのではない

でしょうか。人権問題を相談することで、カミングアウトすることも考えられます。そのような場合、人権擁護委員とはいえ、初対面の人に相談することを不安に思うかもしれません。改善策として、人権擁護委員が幾つかの案を考えました。まずは、場所を固定せずに、例えば郷づくり単位で巡回すること。次に、対面相談ではなく、電話相談にすること。最後に、福間会館のような身近な施設を人権センター化し、

そこに行けば、相談に対応してもらえる場をつくること。このような案が出てきました。これらをすぐに採用はできませんが、とても貴重な内容なので、よりよい人権相談の場を設定していくために、今後しっかりと検討していきます。以前紹介した、性的マイノリティの話題と同様に、身近に居ないのではなく、言えないのだということと同じように、人権相談がないのではなく、相談しづらい障壁を少しでも取り除いていきます。

12月の人権標語

大丈夫
君のそばには
僕がいる

(中学1年生)

好きなこと
苦手なものも
君の色

(小学6年生)

福津ライフ

キッカケラボ KIKKAKE LAB.

No.8 原田 翔平さん

福津市に関わる多様な人たちがつながり合い、新たな可能性を創り出す「キッカケラボ」。ここでは、私たちが目指す「豊かな人生」とそこに至る「きっかけ」について紹介します。 ☎市地域コミュニティ課 ☎62・5017

津屋崎人形は、鮮やかな彩色を施した土人形。土にしか出せない温もりと素朴さがあり、手に取ると懐かしくほっこりします。明治期におしゃぶり人形として使われた「ごん太」や、縁起物として愛される「モマ笛」などが知られます。



翔平さんは、七代目・誠さんの長男として生まれたものの、後を継ぐとは考えておらず、公務員として働いていました。しかし、展示会出展や新商品開発で販路が拡大するころから、多くのかたに愛されるこの人形を後世につなぐことを「自分の仕事」と考えるように。正式に弟子入りし、一から学ぶことになりました。

「250年も愛され続ける歴史の重みを感じつつ、一つ一つ覚えていく毎日です。情報発信にも力を入れ、人形師がどんな仕事をしているかなど、これまで裏側として隠してきた部分も見せていきたい。そんなデータの蓄積が次世代への技術や思いの伝授にもつながると思うんです」と思いを語ります。

12月のイベント案内

おはなし会

- お日さまのうたサークル
 9日(土)午後3時~午後3時30分
 木曜おはなし会0・1・2 (2歳児以下)
 14日(木)午前11時~午前11時20分
 ふくつ語りの会
 16日(土)午後2時~午後2時30分(幼児~小学校低学年)、午後2時40分~午後3時10分(小学生~大人)
 福間津屋崎子ども劇場おはなしの国
 21日(木)午前11時~午前11時30分
 日曜おはなし会(3歳児以上)
 毎週日曜日午後3時~午後3時30分

※状況によって開催を取りやめる場合があります



乳幼児の子育て わわわ

笑って「話」して「和」んで子育ての「輪」を広げませんか。ぜひご利用ください。

①おもちゃ病院

大好きなおもちゃや思い出の詰まったおもちゃ、かつて保護者が遊んだおもちゃで、壊れてしまったおもちゃはありませんか。ドクターが診察して修理します。毎月第3金曜日に実施しています。
 12月15日(金)午後1時~午後3時
 場市子育て支援センター「なかよし」
 費用 1つにつき100円 ※部品代が別途必要

②ともだちタイム

室内にマット、積み木、フープなどで作ったサーキットのコースで運動遊びをしたり、製作遊びをしたりします。2歳から3歳のお子様を対象です。予約が必要です。
 令和6年1月18日(木)午前10時30分~午前11時30分
 場市子育て支援センター「なかよし」 定先着10組

③ぽっぽタイム

多胎児とその保護者を対象にした事業です。絵本を見たり、多胎児の子育てについて参加者同士で話し合ったりします。予約が必要です。
 令和6年1月25日(木)午前10時30分~午前11時30分
 場市子育て支援センター「なかよし」
 対未就学児の多胎児とその保護者 定先着10組

②③の受付開始日 12月15日(金)
 ①②③の問市子育て支援センター「なかよし」 ☎35・8382

市は、乳幼児の子育てを応援しています。みんなで手を取り合って健やかな子どもを育てましょう。こどもの国ホームページでは市内の子育て施設やサービスなどを紹介しています。



問市子育て支援センター「なかよし」 ☎35・8382



▲離乳食について語り合う参加者たち

「知りタイム話しタイム~離乳食~」を開催しました

講座に参加した子育て中のお父さん・お母さんが、子どもの食事や離乳食について、市の管理栄養士から話を聞きました。離乳食の作り方、具材の大きさや調理器具、保存方法、食べさせ方などの疑問を尋ねたり、離乳食を始めて上手くいったことや、分からないことを参加者で出し合ったりしました。「日々、悩んでいたことが参加者の皆さんや栄養士さんの話を聞いて解決できた」「今まで知らなかったことを学べて、離乳食に前向きに取り組んでいけそう」などの声がありました。

図書館の今月のおすすめ

運命の一冊

一冊の本が、ひよつとしたらあなたの人生を変えるかもしれません。紹介している本以外にも、約20万冊の本がある市立図書館に、運命の一冊を見つけに来ませんか。
 問市立図書館 ☎42・8000

きっとステキな本に出会える……はず



「現代誘惑論」遠藤周作/著 河出書房新社
 ドン・ファンとプレイボーイの違い、誘惑者の三法則、情熱と愛の違いをつづる表題作。交際と恋愛、夫婦喧嘩など未収録作品を中心に構成。

「アリとダンテ、宇宙の秘密を発見する」ベンジャミン・アリアーレ・サエンス著 小学館
 1987年、国境近くの町エルパソで暮らす15才のアリは、同い年のダンテと出会い、友情を育んでいく。LGBTQ+青春小説の金字塔です。

「はじまりは一冊の本」濱野京子作 森川泉絵 あかね書房
 何も夢中になれるものがなかった少年・柊斗が、図書館で見つけた「世界に一冊の本」。一冊の本との出会いから、世界が変わり始めました。

「ウェスト・サイド・ストーリー」スティーヴン・スピルバーグ監督 ウォルト・ディズニージャパン
 対立するグループに引き裂かれたNYのウェスト・サイドを舞台に描かれる禁断の愛の物語。伝説のミュージカル2度目の映画化です。